

函 博

令和4年（2022年）11月2日

報道機関各位

市立函館博物館

館長 熊谷 正

収蔵資料展およびロビー展の開催について（依頼）

日頃より、当館の活動につきまして、ご協力を賜り誠にありがとうございます。さて、当館では、10月25日より収蔵資料展「刀と鐔（かたなとつば）」ロビー展「函館の先史時代」を開催しております。

収蔵資料展「刀と鐔（かたなとつば）」では、市立函館博物館所蔵の刀や鐔を紹介いたします。刀の注目品は、箱館の砂鉄で作られた「刀 銘源正雄」。北海道指定有形文化財でございます。

鐔はすべて堤清治郎氏から寄贈された堤コレクションで、函館市指定有形文化財も展示しており、刀の手入れの仕方や部品についても紹介しております。

ロビー展は「函館の先史時代」をテーマに、旧石器時代後期から縄文時代、続縄文時代、古代までの特徴がよくわかる資料を展示しています。

中でも最初に登場する「カムチャツカ出土のマンモスの牙」（函館市指定文化財）は圧巻で長さ3mを超えるものであります。

多くの皆様にご来館いただくため、報道方ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

連絡先

市立函館博物館

担当 佐藤，内田

電話 0138-23-5480

市立函館博物館

収蔵資料展

刀

と

西早
金鑊



